

# 釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

上

六十年年度釧新郷土芸術賞の受賞者が決まった。絵画部門は釧路湿原、阿寒、摩周湖など釧路の自然を描き続ける松林義則さん、そして音楽部門では、結成十年目、若い音楽愛好者の技量向上と音楽を通じての地域への貢献に積極的に取り組んでいる釧路市民吹奏楽団（小野秀美団長）の一個人一団体に贈られる。三十日の贈呈式を前にそのプロフィールを紹介する。

## 自衛隊員志し本道配属夢見た

受賞の報を聞いた松林さん「ないという半面、もっと奮起 専門教育を受け、四月から釧路の第二十七普通科連隊に赴任。現在は本部管理隊に勤務 開いて、画業研さんに努めて」

## 厳しい北の風土を表現

### 釧路の大自然に魅せられ

させる。南国鹿児島県の阿久根市生まれだが、北海道へのあこがれは慕るばかり。それが「私の絵はリアル。以前は見たままの風景を描いてきたが、最近感動した風景を自分の心の中で新たに組みかえている」という。「冬」は演習で訪れた富良野の冬の情景を眺め、生活する人々を思いつつ描き進めた。「九州の人間があこがれた北海道への思い、これをどう表現していくか、テーマは豊かすぎます」と、もどかしさにじむ。

絵画

松林義則さん(三九)

(釧路市美原二の二一)

## 釧新市民マラソンで5度優勝

趣味がマラソン。釧新市民マラソンでは通算五回くらい優勝した強豪ランナーでもある。週三、四回、美原団地の外側を二周する。「来年四十歳ですが、雪どけ時になると、足がうずき出します」とはスポーツマンらしい清新さ。自衛隊の演習で道内の雄大な風景に身を置く楽しさ―この感動を素直に受け入れ、継続を願う。「私の職業は自衛官。絵筆を握れるのは世の中が平和だからと痛感している」と感謝の念も忘れない。四十九年に妻洋子さんと結婚、二男一女の父でもある。

## アッパレ君

木崎征夫

